

## 平成29年1月19日定例教授会議事抄録

### 出席者

高見澤所長

板倉、大木、黒田、佐藤、菅、園田、田中、長澤、中島、名和、平勢、榎屋、松田、  
安富の各教授

青山、李、池亀、額定其勞、小寺、鍾、塚本、馬場、古井、森本、米野の各准教授

### 海外渡航者

高橋教授

議事に先立ち1月1日付け採用教員から挨拶があった。

### 議事

12月15日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

### 通知事項

1. 教員等の公募 資料P6のとおり2件。
2. 各種研究助成等の募集について なし

### 報告事項

#### 3. 所長報告

高見澤所長より、以下の会議等について報告があった。

##### 1) 科所長会議(1月10日)

###### ① 東京大学とカイロ大学との間における全学協定の締結

資料P9～11に基づき、東京大学とカイロ大学との間における全学協定の締結について報告があった。

###### ② 東京大学と南京大学との間における全学覚書の締結

資料P12～15に基づき、東京大学と南京大学との間における全学覚書の締結について報告があった。

###### ③ 東京大学とウォリック大学との間における全学覚書の締結

資料P16～22に基づき、東京大学とウォリック大学との間における全学覚書の締結について報告があった。

###### ④ 総合図書館耐震改修工事(Ⅲ-2期)に伴う代替サービス

総合図書館耐震改修工事(Ⅲ-2期)に伴う代替サービスの案が出されたことについて報告があった。なお、詳細は図書委員会から報告願うとの説明があった。

###### ⑤ 東京国税局による税務調査

東京国税局による税務調査の予定があるとの報告があった。

⑥ 第2期戦略的パートナーシップ大学プロジェクト計画書作成依頼

第2期戦略的パートナーシップ大学プロジェクト計画書作成依頼について報告があり、併せて当研究所ではシカゴ大学、チリ・カトリカ大学/チリ大学が関係するとの説明があった。

⑦ 平成28年度科学研究費助成事業（補助金分・一部基金分）の繰越

資料P23～24に基づき、平成28年度科学研究費助成事業（補助金分・一部基金分）の繰越について報告があった。

⑧ 第3回戦略的パートナーシップシンポジウムの開催

資料P25～28に基づき、第3回戦略的パートナーシップシンポジウムの開催について説明があり、興味のある教員はご参加いただきたいとの案内があった。

2) 予算委員会（1月19日）

① 資料P29～31に基づき、平成29年度東京大学運営費交付金予定額について説明があり、その後、平成29年度「全国共同利用・共同実施分」等概算要求事業に関連し、全国共同利用・共同研究拠点と本研究所の在り方について、2月に懇談会を設けて意見交換をしたい旨の発言があった。

② 資料P32に基づき、平成29年度施設整備実施予定事業について報告があった。

③ 資料P33～34に基づき、平成29年度第2次・第3次配分及び「平成30年度概算要求書の照会について説明があり、関係する教員は要求書の作成に協力願いたいとの要請があった。

④ 資料P35～38に基づき、平成30年度教員採用可能数再配分申請書の照会について説明があり、関係する教員は申請書の作成に協力願いたいとの要請があった。

⑤ 資料P39～45に基づき、平成29年度第2次配分等ヒアリングについて説明があり、関係する教員は協力願いたいとの要請があった。

3) 教育研究評議会（1月17日）

資料P46に基づき、同会議での審議、報告事項の概要について報告があった。

4) 第六回 東京大学東洋文化研究所、復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部 共催国際学術会議（12月16日～17日）

12月16日から17日にかけてアメリカ、プリンストン大学において本研究所と復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部との学術交流コンソーシアム覚書に基づく国際学術会議が開催されたとの報告があり参加した教員に対して謝辞を述べられた。

引き続き、大木教授より概要報告があり、また、中島副所長からは平成29年度以降は体制を見直し、従来よりも手間を掛けない運営を考えていること、平成29年12月に東洋文化研究所で開催する予定であるとの説明があった。

これを受けて高見澤所長から、東京大学での開催となるので多くの教員に参加していただきたいとの要請があった。

5) 教員の海外渡航について（報告）

総務委員会にて資料P47～49のとおり10件を承認した旨報告があった。

教員から危険レベル3以上の地域への渡航についての審議要請があり、総務委員会で承認した件について補足説明があり、その後、該当教員からも事情の説明があった。平成28年7月の教授会において周知のとおり、原則は、危険レベル3以上の地域への渡航は認めない運用であることをご承知おきいただきたいとの確認があった。

#### 6) 非常勤講師・委員等の応嘱について

資料P50のとおり5件を承認した旨報告があった。

このことに関連し、兼業は原則1年、または規則等の添付により最大4年間の期限付きの許可であり、自動的更新されないので自身が許可されている期間を必ず確認しておいていただきたいこと、特に新年度に向けて新たに、あるいは引き続き兼業の予定がある場合は、手続き漏れのないよう注意願いたいとの注意喚起があった。

#### 7) その他

館内部外者立入禁止エリアへの侵入、それを注意した職員へ罵声を浴びせる、1階でエレベータ待っている教員が罵声を浴びせられた等の不審な言動の部外者（同一人物と思われる）が本年度に入り複数回目撃されているとの報告があり、各自で施錠等の自衛策を取っていただききたいこと、不審者を見かけたら事務へ直ちに報告いただきたいこと、また、直接の来訪ではなく電話などによる迷惑行為等の報告もあるので、研究室で迷惑行為を受けた場合も、事務に報告願いたいとの要請があった。

### 4. 各委員会報告

#### 1) 財務委員会

松田委員長より、1月24日（火）の所内ヒアリングへの協力要請があり、各委員会の時間割については、追って事務より連絡するとの説明があった。

また、名和委員長代理から、今年度予算は計画的に執行願いたいとの要請があった。

#### 2) インフラ委員会

特になし

#### 3) 図書委員会

安富委員長より、1月17日に開催された図書行政商議会について以下のとおり報告があった。

① 平成29年度大型コレクションの選定について、当研究所からの推薦は採択されなかったとの報告があった。

② 資料57～59に基づき、東京大学オープンアクセスおよびオープンサイエンス方針の案が示されたとの報告があり、このことについて、研究所全体で考えていただきたいとの要望が出された。

③ 資料51～56に基づき、総合図書館耐震改修工事に伴う代替サービスについて報告があった。

中島委員から、1月16日に開催されたアジア研究図書館部会で報告された図書行政商議会将来計画特別委員会での協議状況について報告があった。

#### 4) 研究企画委員会

佐藤委員長より、

- ① 資料P 6 0～6 2に基づき、当研究所が幹事部局となるシンガポール大学との全学交流協定を更新したとの報告があった。
- ② 平成29年度の班研究の研究計画について作成依頼があった。
- ③ 55歳教授の研究報告会（自己点検・評価セミナー）の在り方の検討結果について
  - ・評価制度としての報告会は終了する
  - ・55歳前後で担当する定例研究会の際に、総括と展望をテーマとした発表をしていただくこととする
  - ・発表に対しての評価書作成や外部の評価者招へいは不要とする
  - ・55歳前後に行う研究会に対して特別な名称は付さず、あくまで定例研究会の中で実施するものとする

との報告があった。

また、これに関連して、定例研究会の在り方として、現状の定例研究会は7～8年程度に1度しか順番が当たらないことから、お互いの研究を知るためにも発表の機会を増やしたい。ASNETやGJSのイブニングセミナーに参加するなどし、3～4年に1度程度は発表の機会を設けることを検討しているとの報告があった。

以上の報告を受け、高見澤所長から教授会メンバーに意見を求めた結果、異議なく了承された。

- ④ 池亀委員より、2月および3月は今年度末で退職する教員の研究会を予定しているとの案内があった。

#### 5) 東洋学研究情報センター委員会

平勢副センター長より、

- ① 来年度のセンター関連の予算案について、昨年並みで検討中であるとの説明があった。
- ② 平成29年度センター叢刊について、希望者は申し出ていただきたいとの要請があった。

#### 6) 情報・広報委員会

古井委員長代理より、Mac OSのサポート期限が切れている方は、メールの通知に注意していただきたいとの注意喚起があった。

#### 7) 情報セキュリティ委員会

高見澤所長より、

- ① 資料P 6 3に基づき、「東洋文化研究所情報セキュリティインシデント対応体制」を整備したとの報告があり、何かあれば情報広報室へ直ちに連絡するよう要請があった。
- ② ハードディスクの増設のため、所内のネットワークを1日停止させる予定があること、3月下旬で日程調整中であること、詳細は別途通知することについて報告があっ

た。

## 5. その他

### 1) 平成29年度短時間勤務職員の雇用手続きについて

資料P64～66に基づき、土田事務長より、来年度の短時間勤務職員の雇用更新、新規採用に係る手続きについて、提出書類、提出期限、留意事項等の説明があり、期限までの手続きが難しい場合は、あらかじめ事務へご相談いただきたいとの依頼があった。また、教授会後に改めて、所内周知を行うとの案内があった。

### 2) UTokyo Account パスワード更新について

資料P67に基づき、土田事務長より、UTokyo Account パスワードの更新をせずに有効期限が切れた際には、共通IDを使う各種サービスが利用できなくなるので、必ず更新をしていただきたいこと、更新の案内通知の電子メールが届かない場合は、資料を参考にパーソナルメニューを確認していただきたいとの依頼があった。

### 3) その他

高見澤所長より、本年度の退職者・転出者の送別会を3月30日（木）に開催したいとの提案があり、レクリエーション委員で企画を進めるよう要請があった。

## 審議事項

### 6. 教員の海外渡航について（審議）

高見澤所長から説明があり、資料P68～69の4件が承認された。

### 7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から説明があり、資料P70～72のとおり受け入れ6件、受け入れ期間変更1件が承認された。

### 8. 平成29年度教授会日程案について

高見澤所長より、資料P73～75に基づき、来年度の教授会及び各委員会の開催日程について説明があり、次回教授会にて最終的に開催日程を確定することとしたい旨提案があり、承認された。

### 9. 特任教員及び特任研究員選考に関する覚書について

高見澤所長より、資料P76～77に基づき、内規第8章「特任教員の選考」に基づく特任教員及び特任研究員選考に関する覚書の制定について提案があった。本覚書は、科研費のような教員の外部資金を用いて特任教員を採用する際の選考委員会委員の選出方法、委員の構成及び審議等の手続きを整理したものであること。特任研究員の採用についても従来は明文規定がなく教員から所長へ一報後、直接教授会に諮り審議していたため、この機会に特任教員同様に選考委員会を設置し、教授会で審議するよう運用を改め明文化したとの説明があり、その後、審議のうえ承認された。

### 10. 教員人事について

① 高見澤所長より、回収資料に基づき、著名外国人教員ポストである新世代アジア研究部門の来年度特任教授候補者2名について、選考過程、選考理由等の説明があり、投票の結果、選考委員会の推薦のとおり同候補者の採用が決定した。なお、任期はそれぞれ

平成29年7月1日から平成29年10月31日までの4ヶ月間、平成29年7月1日から平成29年12月31日までの6ヶ月間の予定であること、資料P78の招聘条件を策定し、候補者に打診、内諾を得ていること等補足があった。

② 中島選考委員長から、回収資料に基づき、平成30年度および平成31年度の著名外国人教員ポストである新世代アジア研究部門の来年度特任教授候補者について、選考過程、選考理由等の説明があり、投票の結果、選考委員会の推薦のとおり同候補者の採用が決定した。なお、平成30年度の任期は半年程度で調整中であること、平成31年度は、12ヶ月間の予定であること、招聘条件については、採用前の年度に策定する予定であること、候補者に打診、内諾を得ていること等補足があった。

このことに関連し高見澤所長から、平成32年度以降の候補者は未定なので、推薦していただきたいとの依頼があった。

③ 高見澤所長より、東アジア研究部門（第二）選考委員会より准教授候補者の推薦があった旨説明があり、続けて、同選考委員会委員長から、当該候補者の略歴、研究業績、推薦理由等の説明があり、審議を行った。次回以降の教授会で再度審議のうえ、投票を行いたい旨発言があった。

#### 11. 客員教授の称号について

高見澤所長より、審議事項10①にて平成29年度新世代アジア研究部門に特任教授として採用することが決定した2名に対して、客員教授の称号を付与したい旨提案があり、承認された。

#### 12. その他

高見澤所長より、先月の教授会で審議した史料編纂所からの平成30年度の会議室借用依頼について、史料編纂所より耐震工事の工期が変更となったため、依頼をいったん取り下げるとの申し出があったとの報告があった

以上